

知っちゃおう！お仕事拝見

新しい特集になります！
各部署の仕事内容や、働く
人の想いを特集させてい
たきます♪



Vol.1 薬剤部



薬剤部理念である「私たちは、患者さんの立場に立ち、信頼と満足が得られて、心のふれあいのある医療サービス提供のため、医薬品の適正使用を通じて、質が高く安全な薬物療法を提供します。」のもと、アグレッシブな部長以下、元氣な薬剤師九名と朗らかな事務職員十一名で業務を行っています。

【薬剤部と医療安全】

医薬品は、治療に必要な不可欠な「クスリ」であると同時に、使用方法を間違つと重大な「リスク」をもたらします。医薬品に関する事故を未然に防止するため、情報提供、院内スタッフ向けの研修会等を実施し、医療安全に寄与しています。昨年度実施した医療安全研修会では、「薬剤師さんが一生懸命で感動しました」との感想もいただきました！

【薬剤部と病棟業務】

安全な薬物療法の提供のため、患者さんに指導を行い、医師に処方提案を行っています。病棟に薬剤師が常駐することにより、薬の相談がしやすくなったという言葉もいただきます。退院後の生活も見据え、「地域の医療機関・薬局へ繋ぐ」ことにも力を入れていきます！

【薬剤師とチーム医療】

ICT、NST、褥瘡、緩和ケア、認知症ケア等のチーム医療に参画しています。治療効果の向上、薬剤の適正な使用、適切な減薬によるリスク回避にも薬剤師の視点が役立っています。

お薬のこと、"こうなればいいなあ"ということがあれば是非お声掛けください！

『仕事を通じて職員が幸せになる。それが患者さんへ伝わる』

Google が「成功するチームに必要なものは何か」をリサーチした結果、最も重要な要素は Psychological Safety（心理的安全性）だそうです。木曽病院に来て、薬剤部は心理的安全性がとても高い職場であると感じます。それは①力を合わせることで道が拓かれると信じている＝困ったときに皆がアイデアを出しあえる。②小集団活動等で若手がリーダーを任せ、先輩がうまくサポートしている。③業務改善にとっても前向き。④笑顔が絶えない。などなど、日々とても楽しく仕事をさせていただいています。

「この職場でよかった！」「この人たちと働きたい！」そんな幸せな気持ちが患者さんに伝わります。仕事を通じて幸せになる。それが薬剤部のミッションです。

『声を聞くからこそ薬が効く』

平均寿命の延長に伴って、疾患と付き合いながら生活することが当たり前となった今、日々の薬物治療がより重要になっています。薬物治療をより良いものにするということは、生活の一部をより良いものにするということにもなります。疾患が悪化しないようにすることはもちろんですが、日々の生活において薬を飲むことそのものがQOLの低下にならないようにすることも薬剤師の使命と思っています。患者さん一人一人の声を聞くからこそ、よりよい薬を選択できるようになると考えています。

薬剤部では、一人一人によりよい薬剤の選択や内服管理の工夫などについて真剣に、時には和気藹々と相談し合っています。

地域に唯一の有床病院が木曽病院でよかったと言われる病院の薬剤部であるように頑張ります。



伊藤 陽一 部長



富田 勇 さん

